

# 日本は『普通の国』になれるでしょうか

■安倍晋三内閣がこの3年間の間に成すべきことは、わが日本国を「普通の国」にすることだろう。

「普通の国」とは誰の顔色も伺わずに自国の判断で物事を決定できること。

「情けない国」とは自国の「防衛を他人任せ」にしている国だ。

自分の国を自分の手で護れない国は「普通の国」だろうか？いや、半人前が良いところであって、とても「普通の国」とは言えない。

「普通の国」になるためにはまず『自主防衛体制』を確立する必要がある。

そのためには『自主憲法』が必要で、現在のアメリカから押し付けられた憲法のみまでよいわけがない。

アメリカがなぜ憲法を押し付けたのか、答えは簡単だ。

日本軍があまりにも強かったからの一言に尽きる。

復活されて反撃でもされればとても持たない。

アメリカは日本を「強力な手かせ足かせ」で縛ることに目的を置いて【日本国憲法】をつくったのだ。

だから、日本国憲法には

1. 正義と秩序を基調とする国際平和を

誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

■せっかく鍛え上げた自衛隊があっても実力を行使できないのなら、中華人民共和国の「張り子のトラ」と何ら変わらない。

韓国も北朝鮮も、中華人民共和国も日本が実力行使できないことをよく知っている。

だから挑発してくるのだ。

日本の取るべき行動は、領海侵犯する艦船を撃沈し、領空侵犯する戦闘機を撃墜するなり、きめこまかな対応をすれば「ご指導ありがとうございました」と感謝されるはずである。





■だいたい【暴力装置】にタガがはまっていては精神構造上よろしくないし不健康である。

プルトニウムがいくら貯蔵されていても、いかに正確にロケットを制御できる技術があっても『核弾頭ミサイル』ではない。「核燃料のゴミ」と天体観測用の「平和利用のロケット」だ。

わが日本より技術力、経済力が格段に落ちる共産独裁国家の残虐非道な北朝鮮のロケットマンを野放しにしておいてよいのか。

ロケットマンが「核弾頭付きのミサイル」をポンポン打ち上げ、ロシアが北方領土に新しくミサイル基地を造り、中華人民共和国が「核ミサイルで日本を狙い」、「日本領海を侵犯」し、「勝手に東シナ海(日本領海)に観測用ブイを設置」しても黙って耐える日本。こんなことが許されてよいわけではない。

■同胞が北朝鮮に拉致されたと言って取り返しに行けない国は「普通の国」だろうか？

子供が誘拐され、犯人がわかっているのに取り返しに行けない。誘拐犯人とじっくり話しあって返してもらう、までじっと耐える、我慢するのが「普通の国」なのか？

**「ポーっと生きてんじゃないよ」とチコちゃんに怒られるわ。**

■領海・領空を中国やロシアに侵犯され、スクランブルをかけても「威嚇射撃」もできず「ここは日本領です。速やかに戻ってください」とアナウンスするだけでは「普通の国」とは言えないだろう。

■中華人民共和国の「偽装船団」に小笠原に不法に侵入され、貴重な赤サンゴをごっそり盗られても「海上保安庁・海上自衛隊」が「偽装漁船」を拿捕できなかったのは「普通の国」だからだろうか？

インドネシアは親中国の国だ。そのインドネシアでさえ中華人民共和国の「偽装漁船」を18隻拿捕し、そのうち1隻だけが遠慮しながら爆破・沈没させている。なぜインドネシアにできて日本にはできないのか？

日本は「普通の国」ではないから・・・無理なのね。